



# 登山だより

## 五月行事日程

一日～七日

聖天秘供(聖天堂)

六日、十八日、三十日

弁天様御縁日

一日、九日、二十二日

御詠歌勉強会

(十時山麓不動院)

八日

仏舍利詣り(仏舍利塔)

十八日

高尾山天狗まつり

二十七日

月例写経会

(十二時山麓不動院)

二十八日

奥之院開扉供養

(十時奥之院)

高尾山とんとんむかし

「語り部の会」

(十二時半山麓不動院)

二十一日

飯縄様御縁日

神徳報謝百味飲食供

(九時大本堂)

☆神徳報謝百味飲食供

高尾山御本尊飯縄大権

現様の日々の御加護に感

謝し、沢山の御供物を捧げ

て御本尊様威光倍增の為、

御供養申し上げる法要で

す。

皆様の御志納を受け付

けておりますので、ご希望

の方は大本堂までお申し

出下さい。

尚、法要終了後に百味の

お札を授与致します。

毎月二十二日午前九時勤修

御志納金 一口三千円以上

## 毎日の お護摩奉修時間

(4月15日～10月31日まで)

午前5時30分

// 9時30分

// 11時00分

午後0時30分

// 2時00分

// 3時30分

ご講中・団体等御相談  
下さい。

## 高尾山

# 四季の草花

108

## ハハコグサ 母子草

キク科・ハハコグサ属



葉や茎が白い綿毛わたげで覆われている様子が、「母が子供を包み込むような」優しさを感じたことから「母子草」となった説や、全体を覆った白い綿毛が「ほうけ立つ」事から「ホウコクサ」と呼ばれ、転訛して「ハハコグサ」となった、又は、この野草を餅に入れて草団子にして食べた事から「葉つ草」と呼ばれ、転訛して「ハハコグサ」もなったという説があります。

春の七草の一つで「御形」とも呼ばれ、若芽を採り「七草粥」の具にしたり、てんぷらの材料にします。

古書(一八〇三)には、「三月三日の草餅は、この草で作った物であったが、餅の色が濃く出来る「よもぎ」に変わったと記されています。

花後、秋に葉が出来て越冬し、春に茎を出して茎の頭部に小さな黄色の花を咲かせます。温かい所では、二月頃から咲き始めます。

(撮影・文 中村 毅人)

## インターネットでの 申し込み受付について

当山では、御護摩修行に参加できない方の為に、御護摩札の郵送を、お受けしております。

手紙、FAX等での申し込みを、お願いしておりますが、インターネットの「高尾山薬王院公式ホームページ」(左記参照)の「お護摩祈祷のご案内」から直接申し込みをすることが出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。



高尾山薬王院ホームページ  
<http://www.takaosan.or.jp>

発行所  
東京都八王子市高尾町2177  
大本山  
高尾山薬王院  
郵便番号 193-8686  
電話(042)-661-1115(代)  
FAX(042)-664-1199  
発行人 菅谷 秀文  
編集人 渋谷 秀芳  
印刷 ヒラツカ印刷社  
毎月1回1日発行  
1部50円